

事業所名 放課後デイサービスみんなのえがお

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和7 年 1 月 10 日

法人（事業所）理念		それぞれの価値観を尊重し、互いに成長し、伸びていく企業であること。かかわる全ての人が笑顔でいられる企業であること。										
支援方針		みんなが笑顔で毎日を送れるように、心身ともにサポートしていく。個々の能力や特性に合わせた療育をしていく。										
営業時間		13	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	児童それぞれの体調や顔色などの変化がないか確認するとともに、食生活や睡眠リズム、排泄などの管理を行う。ペアレントトレーニングも含めた日々の生活の様子を把握する。										
	運動・感覚	トランポリンやバランスボールなどを使用した運動。制作などでの指先を使う機能訓練や絵の具や色鉛筆を使って行う視覚的感覚のトレーニング。										
	認知・行動	絵本や絵カード、歌絵本や音楽プレイヤーなどを使っての、認知能力の向上をはかる療育。個々の欲求だけを通すのではなく、集団としてのルールに基づいた行動ができるように支援していくこと。										
	言語 コミュニケーション	言葉絵本などを使ったり、実際に発語を促す支援を行っていく。										
	人間関係 社会性	集団生活の中で培える能力の発掘と、社会に出るにあたっての基本的なルールやマナーの習得を支援していく。										
家族支援		当該児童に合わせた子育てや、教育のサポートを行ったり、育児相談や問題行動などの相談を常に行って行く。						移行支援		年齢を重ねるとともに、個々の能力を少しずつ伸ばしていく必要があるため、小学部、中学部、高等部と上がっていくにつれて、療育の内容を再確認していく必要がある。		
地域支援・地域連携		現在、特に地域連携や地域支援は行っていないが、学校やサポートセンターなどとの協力が必要である。						職員の質の向上		児童を療育するにあたって、職員が専門職としての自覚を持ち、良質なプログラムの提供を行えるように、日々のカンファレンスや意見交換を活発に行って行く。		
主な行事等		制作、運動、お花見、プール、公園への遠足、食育などを行っている。										